

## 来年度の海部会活動方針

-第3回全体会議資料より-

### ■活動テーマ①：ごみ・流木問題

#### 運営方針から見る活動内容

管理者の処理が行き届かない流木ごみの再漂流防止のため、市民活動での処理方法や再利用ニーズなどを調査する（個々に情報を持ち寄る）。県が進めるごみMAPへの調査結果の活用検討など様々な関係者との連携を検討していく。

#### WG・振り返りシートから見る活動提案

流木の発生源が分からないため、山部会の人にも来てもらいたい。  
山部会、川部会に組み込んでもらい、合同で調査してはどうか（夏場上下流交流ができる場で）。  
調査結果を山川海部会で報告したい。  
ごみの量を三河湾全体で数値化して表せるようになると良いのではないかと。  
海底ごみの様子を見てもらうために、一度漁船にのってもらおうとよい。  
海の現状を市民にアピールしていく方法を考えたい。  
写真やパネルなどをつくって、役場のロビーなどに巡回展示したらどうか。（愛知県では、パンフレット、ポスターを作成し、コンビニと連携している）

#### 《来年度の活動内容（例示）》

- ① 出水後のごみ・流木調査の継続実施  
山・川部会と連携した調査 / 支川（県や市の管理区間）での調査 / 海底ごみ調査など
- ② 調査結果の整理・分析方法の検討  
ごみMAPの作成 / 調査結果のデータベース化 / 発生源等の把握方法の検討など
- ③ 流木等の自然由来の処理方法の検討  
市民活動での処理方法の検討 / 再利用ニーズ調査の実施など
- ④ 流域連携に向けたPR方法の検討  
調査結果報告会の実施 / 写真・パネル展の実施 / パンフ・ポスター作成 / 奈佐の浜PJとの連携など

#### 来年度の活動方針（案）

- ① 川と連携したごみ・流木調査の実施  
今年度、海部会メンバーのみで実施したごみ・流木調査を流域圏全体で実施し、ごみ・流木の現状と問題意識を共有する。
- ② 海底ごみ調査の実施  
ごみ・流木同様、海地域で問題となっている海底ごみの実態を、地元漁業者の協力を得て調査する。
- ③ ごみ・流木調査報告等による情報共有（上記の活動と合同開催も検討）  
海部会（流域圏）でのごみ・流木調査結果の報告、一般廃棄物の発生源等の情報共有を目的として、一般市民やその他活動団体を対象とした調査報告を実施する。  
また、昨年度から交流が始まっている奈佐の浜プロジェクトのメンバーとのごみ調査を通じた交流・情報共有を継続的に実施する。

## ■活動テーマ②：豊かな海の生物調査

### 運営方針から見る活動内容

総合的な海の情報共有を推進する。  
ごみの生物影響に関する情報収集を実施する。  
流域圏の干潟生物等のアーカイブ作成する（環境学習にも使える生き物パネル等の作成）。

### WG・振り返りシートから見る活動提案

調査結果をまとめて、それを使って交流する方向が良いのではないか。  
生物調査を海部会だけでやっても意味がないので、他へアピールする方法を考えたい。  
なぜ干潟が必要なのかを伝えていくことが大事である。

### 《来年度の活動内容（例示）》

- ① 干潟生物調査の継続実施  
海部会構成団体の活動との連携
- ② 調査結果の活用方法の検討  
調査結果のデータベース化 / 生き物パネルの作成 / その他PR方法の検討など
- ③ 総合的な海の情報共有  
生物影響ゴミの情報収集 / 海底のごみ調査（再掲） / 干潟の必要性検討など

### 来年度の活動方針（案）

- ① 鳥類から見る海の勉強会の開催  
今年度は、干潟の生き物を中心とした調査を行ったが、来年度は、メンバーの専門性を活かして、鳥類の生態から豊かな海を考える勉強会を実施する。
- ② 海底の生きもの調査勉強会の開催  
今年度は、三河湾内のDO調査のみを実施したが、来年度は、貧酸素水塊が海底の生きものに与える影響についても勉強会を実施する。

## ■活動テーマ③：海と人との絆再生

### 運営方針から見る活動内容

海から遠のいてしまった子どもの遊び場としての干潟づくりを漁協等の関係者と検討する。  
生き物調査や清掃活動などの環境学習への参加者の増加を目指した学校関係者等との意見交換を行う。  
海での様々な活動者の発掘と活動支援を行う。  
海への理解を深めるための勉強会や現地見学会を実施する。

### WG・振り返りシートから見る活動提案

漁師さんの話を聞いて、山部会でも行っている聞き書きをしてみようか。  
海を教育の場、遊びの場として子供たちに伝えていく方法もある。  
各団体では、小学生を潮干狩りに招待するような活動もしている。  
食で海に呼び込むという方法もある。

### 《来年度の活動内容（例示）》

- ① 海に関心を持ってもらう活動の実施  
漁師さんとの交流（聞き書き）/ 食イベントの開催 / 小学生との交流イベント / 学校関係者との意見交換など
- ② 干潟へのアクセス改善の検討  
干潟の部分開放 / 干潟へのアクセス改善（改善個所の検討）など
- ③ 海での活動者の発掘・連携  
三河湾での海の交流活動調査 / 部会構成団体の活動報告会の実施 / 活動連携の意向調査など

### 来年度の活動方針（案）

- ① 子どもの干潟体験の実施  
現在、海部会に所属する団体（矢水協）が主催している小学生の干潟体験イベントについて、海部会のノウハウなどを提供し、連携して開催する。
- ② 漁業関係者との交流  
海と密接な関係にある地元漁業者と交流し、海と人との絆再生に向けた課題を抽出する。また、聞き書きを行い、海の生活を伝聞する。

## ■活動テーマ④：干潟・ヨシ原再生

### 運営方針から見る活動内容

河口部の干潟・ヨシ原再生箇所における生き物のモニタリング調査を実施する。  
今後の左岸河口部等の干潟再生事業箇所における望ましい再生の姿を検討する。  
ダム砂や川砂の実態調査や山地域との課題認識等の情報交換を実施する。

### WG・振り返りシートから見る活動提案

調査結果をまとめて、それを使って交流する方向が良いのではないか。(再掲)  
生物調査を海部会だけでやっても意味がないので、他へアピールする方法を考えたい。(再掲)  
なぜ干潟が必要なかを伝えていくことが大事である。(再掲)  
干潟の造成実験ができないか。  
干潟にダムの砂が必要だということをアピールしていく必要がある。

### 《来年度の活動内容（例示）》

- ① 河口の生き物調査の実施  
河口干潟の生き物調査の継続実施 / ヨシ原の生き物調査など
- ② 調査結果の活用方法の検討  
調査結果のデータベース化 / 調査結果のPR方法の検討など
- ③ 理想的な干潟の検討  
理想的な干潟の現地調査 / 理想の干潟のイメージ共有 / 理想的な干潟の必要条件の検討など
- ④ 流域連携に向けた活動検討  
山地域との課題の情報共有 / 干潟造成実験に向けた検討など

### 来年度の活動方針（案）

- ① 干潟造成実験に向けた検討  
今年度より要望が出ている干潟造成実験に向けた検討について、可能な範囲で、対象候補地や役割分担等の具体的な検討を進める。